

医療機関で働くみなさまへ

# 知的な障害のある人を 理解してください！

障害のある人が病気やけがをしたとき、  
うまく症状を伝えられないことがあります。  
この先どうなるのかわからなくて、  
強い不安をもつ人もいます。  
そんなとき、安心して医療を受けるには、  
みなさんの理解が必要です。  
病気やけがの状態を上手に聞いていただくために、  
このパンフレットを作りました。  
ご活用していただければ幸いです。



こんな経験はありませんか？



変な人？  
困った人？  
こわい人？



いいえ、そんなことはありません

知的な障害のある人は、発達に遅れがあるために、うまく社会に適応できないことがあります。

**知的な障害のある人にはこんな人たちもいます**

コミュニケーションが  
うまくとれない



はじめての体験に  
不安を感じる



どうしてもいかわからないとき  
パニックになる



# コミュニケーションボードや絵カードを利用しましょう

保険証や診察券を見せてもらいたい場合

→ コミュニケーションボードの

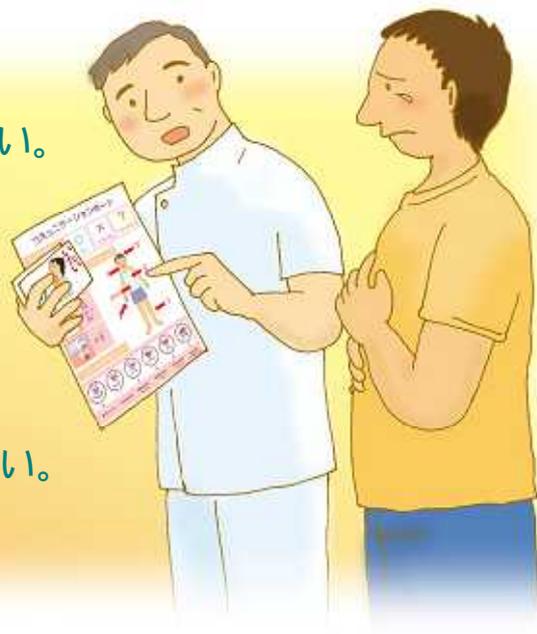
「もっていますか？」を使って聞いてください。

どこが痛いかわからない場合

→ コミュニケーションボードの

「どこがいたいの？」を使って聞いてください。

→ 絵カードを使ってください。



どれくらい痛いかわからない場合

→ コミュニケーションボードの

「フェイススケール」を使って  
聞いてください。

検査の説明をしたい場合

→ 絵カードを使ってください。



\* コミュニケーションボード裏の絵カードは一部です。

絵カードは全部で41枚あります。ご希望の方は大阪知的障害者育成会

(電話: 06-6975-3370 FAX: 06-6975-3350) にお問い合わせください。

知的な障害がある人のセーフティネットをめざして

発行: 2007年10月

発行者: プロテクション・アンド・アドボカシー・大阪(P&A-大阪)

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-46-4 昭和土地建物ビル2F 辻川法律事務所内

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業